

平成30年度NIE実践報告

大口明光学園中学校

1 はじめに

NIE 実践校に指定していただいて1年目を終えることができた。はじめに大口明光学園中学校について紹介したい。

本校は1960年に旧大口市（現伊佐市）の招へいに応え、「カノッサ修道女会」が設立したカトリック女子校である。それ以来、カトリック精神と倫理観に基づいた「心の教育」の実践によって、社会に貢献できる全人格の女性の育成を続けている。中高一貫教育を行っており、高校は進学を前提とした普通科のみを設置し、「進学コース」「難関大コース」に分かれる。創立当初からグローバル教育を続けており、英語に触れ続ける学園生活が特徴である。学んだ英語の実践の場として中学校3年でシンガポール修学旅行が行われる。

本校のもう一つの特徴として、生徒寮を設置していることが挙げられる。そのため、本校には鹿児島県はもとより、北海道から沖縄まで全国各地から生徒が集まる。

2 ねらいとテーマ

(1) ねらい

本校では、実践校指定以前より南日本新聞「若い目」への投稿（【写真1】）や、中学生の夏季休業課題として「新聞よむのびコンクール」出展作品の製作（【写真2】）などを行ってきた。本年度より実践校に指定していただいたことで新聞を教材として活用しやすくなり、授業や総合学習、LHRなどの活動の幅を広げて活性化することをねらいとしている。また、NIEを通じて、読解力だけでなく表現力やデータを読み取る力など多様な力を身につけ、高校生での課題解決学習へつなげていく。そうすることで、大学入試改革へも対応したいと考えている。

【写真1】「若い目賞」と今年度掲載分の「若い目」



【写真2】よむのびコンクール学校賞



(2) 実践にあたってのテーマ

テーマとして以下の5点を設定した。

- ①新聞を通して国際的教養を身に着ける。
- ②ニュースに興味を持つ。
- ③新聞を読むことで読解力を身につける。
- ④記事を読んで自分の考えを持って、意見を言える（書ける）ようになる。
- ⑤発表を通して相手の考えとの同意点や相違点から考えの多様性を知る。

※本年度は実践1年目ということで、何よりもまず新聞に親しみや関心が少ない生徒に、新聞を目にする機会を多く持たせることで新聞に対する抵抗感を少なくし、親しめるようにすることも心がけた。

3 実践内容

(1) 購読計画

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
朝日	○		○	○			○
毎日	○	○		○		○	
読売		○			○	○	○
日経			○	○	○	○	
南日本	○	○	○	○			

(2) 実践体制

NIE係と中学1～3年の担任・副担任・主任・教科担当で実施する。

(3) 活動

①実践

実践月日	内容	
9月19日	NIEルーム創設	【1】
10月2日	全学年を対象によむのび教室	【2】
11月13日	「朝しんぶん(※1)」開始	【3】
11月17日	中学校保護者研修会	
	中学2年が総合学習(職業調べ)	【4】
12月12日	中学校3年の保健の授業	【5】
1月23日	中学校3年の保健の授業	【6】
不定期	社会科の授業の導入(※2)	

※1 朝8時10分から15分間、新聞の1面を読んで150字程度の感想を書く。火曜に中学1年、水曜に中学2年、木曜に中学3年が行う。書いたシートは担任が集めて目を通し、検印を押す。シートは保管しておいて、学期末に保護者に郵送する。

※2 その他、社会の授業の導入で新聞を用いて世の中の動きを知るきっかけづくりにしている。

②写真（実践の様子など）

【1】



(ア) NIE ルーム



(イ) 教室後ろに新聞と「朝しんぶん感想シート」ファイルを置いている。(→【3】(イ)(ウ))

【2】

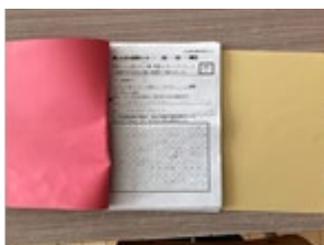


南日本新聞記者の方が講師として新聞の読み方について授業していただいた。

【3】



(ア) 中学1年の「朝しんぶん」取り組み風景。実施日1ヶ月以内の新聞の一面から気になる記事について感想を書く。



(イ) 朝しんぶん感想シート



(ウ) (イ) はファイリングして、生徒たちが自由に読めるように展示している。



(エ) 毎週各学年で注目感想をNIE係で選び、NIEルーム廊下に掲示。

【4】



中学2年の新聞記事を使った職業調べ。作品はNIE ルーム展示。

【5】



中学3年の授業で作った AIDS の予防について、新聞記事を用いて授業した。

【6】



4 成果と課題

(1) 成果

- ①実践1年目では生徒たちが新聞を手に取り、抵抗感を少なくすることはできた。
- ②よむのび教室後、中学1年生がNIE ルームに来て新聞を読むようになった。
- ③「朝しんぶん」に取り組むことで、興味・関心のある記事について自分の意見を持ち、文章で表現する力が身につき始めた。
- ④授業に新聞を取り入れることで、学習内容が身近に感じるようになった。また、新聞を読むことで世の中のできごとに興味を持つようになった。

(2) 課題

- ①年度途中からのスタートとなり、各教科各学年の計画がすでに決まっていたので、なかなか新聞を活動に取り入れることができなかった。また、教科間で実践に偏りがあった。職員研修でNIEの実践について、取り組む必要を感じた。
- ②本年度は新聞に親しむことに主眼をおいたため、読解力や表現力を高める取り組みが十分でなかった。「朝しんぶん」感想シートの内容に対するフィードバックにまで至らなかった。2年目では感想文を書くだけでなく、感想のスピーチや意見の交換を行うことで表現力や意見の多様性を学ぶ機会を設けたい。
- ③修学旅行でシンガポールに行く関係から国際関係の記事のスクラップを行う予定であったが、取り入れられなかった。
- ④各学年でテーマを持った新聞スクラップや壁新聞づくりに取り組めるようになりたい。

5 おわりに

実践にあたって、多くのアドバイスをくださった南日本新聞やアドバイザーの先生に感謝申し上げますとともに、本年度の反省を活かし実践2年目のNIEを充実させたい。